

鳳徳だより

—学校評価—

平成26年10月31日

京都市立鳳徳小学校
校長 小宮山 修子

TEL：075-491-3592
FAX：075-491-0616
http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/hotoku-s/

子どもと共に育む
京都市民憲章



社会のあらゆる場で実践し、
行動の輪を広げましょう！

平成26年度前期学校アンケート結果のお知らせ

校庭の木々も色づき始め、秋の深まりを感じる季節になりました。平素は本校教育に何かとご支援ご協力いただきましてありがとうございます。

さて、保護者の皆様にはお忙しい中、学校評価にご協力いただきありがとうございました。保護者の皆様からのアンケート結果、また児童へのアンケート結果、教職員の自校評価をふまえ、継続していくべきところ、改善していくべきところを明らかにし、今後の教育活動に生かしていきたいと考えております。



◇◇ アンケートについて ◇◇

アンケート内容は、昨年度と同じ質問項目で実施しました。アンケート内容は、大きく2つに分け、「◆子どもと学校のこと」、「◆子どもと家庭のこと」について、子どもと学校生活に関することを6項目、学校教育に関することを6項目、家庭生活や地域等に関することを6項目とし、合計18の質問項目を立て、それぞれの項目につき「重要度―実現度」を尋ねる形式でアンケートを実施しました。また、自由記述欄を設け、具体的なご要望や学校への思いを記述していただきました。

今回のアンケート結果からは、「実現度」を中心に分析・考察し、学校の取組状況、保護者の皆様の思いをしっかりと把握していきたいと考えております。

★保護者アンケートより

○どの質問項目においても、「重要度」は高く受け止められています。（最高値は「7」）とりわけ、学校生活が楽しく充実していることは必須の条件であります。

○「子どもは楽しく学校に通っている」「子どもは友だちと仲よくしている」は、95%の保護者の方から評価をいただいています。鳳徳小学校に毎日通うことが子どもたちの成長に大きくプラスに関わって

いる結果だとうれしく思います。この結果におごることなく、今後も友だちと一緒に学び高まりあえる学校づくりに取り組んでまいりたいともいます。

平成26年度 前期学校アンケート保護者（ニーズ度：重要度―実現度の相関）			
質問項目	重要度	実現度	ニーズ度
1 子どもは楽しく学校に通っている。	6.8	7.6	2.7
2 子どもは進んで挨拶をしている。	6.6	6.6	9.2
3 子どもは友だちと仲よくしている。	6.7	7.6	2.7
4 子どもはあきらめずに最後まで学習している。	6.6	6.5	9.9
5 子どもは物を大切にし、後片付けをしている。	6.6	5.8	14.5
6 子どもはきまりや約束を守っている。	6.7	6.9	7.4
7 学校はわかりやすい授業をしている。	6.5	7	6.5
8 学校は健康や安全に配慮した教育活動を行っている。	6.6	7.2	5.3
9 学校は人権を大切にした教育活動を行っている。	6.4	6.6	9
10 学校は保護者と連携を密にしている。	6	7.1	5.4
11 学校は地域と連携した取組を行っている。	5.7	7.2	4.6
12 学校は方針や取組をわかりやすく伝えている。	5.9	6.9	6.5
1 子どもは早寝・早起き等、健康を考えて過ごしている。	6.6	6.7	8.6
2 子どもは家庭学習の習慣が身に付いている。	6.5	6.8	7.8
3 子どもは家庭で読書をしている。	5.8	5.3	15.7
4 子どもは家庭で手伝いをしている。	5.9	5.5	14.8
5 保護者は子どもと触れ合う機会をもっている。	6.5	6.6	9.1
6 保護者はPTA活動や地域行事に参加している。	4.9	5.9	10.3
重要度、実現度の最高値は「7」最低値は「1」、ニーズ度の最高値は「49」			

○学校の教育活動（分かりやすい授業、健康・安全に配慮した教育活動、保護者との連携）について、90%の保護者の方から評価いただきました。学校は子どもたちに「生きる力」を育成する場であることから、確かな学力、豊かな心、健やかな体をバランスよく身につけられるよう、授業改善を図り、安全で安心できる学習環境を整え、保護者・地域の皆様と連携を図りながら教育活動を進めていきたいと思ひます。

○学校は保護者・地域との連携を大切にしていると評価していただいています。学校運営評議会の皆様のご意見を始め、PTA・保護者の皆様、地域の皆様のご指導・ご支援や温かいお言葉をいただいていることに感謝申し上げます。地域の学校としてこれからも連携をしっかりととりながら、学校の教育活動を進めてまいりたいと思ひます。

○お子たちの基本的生活習慣や主体性（ものを大切にする、片付けをする、家庭で読書や手伝いをするなど）が十分でないことが分かりました。これらは、保護者アンケート集計の「ニーズ度」に現れているように、重要度が高いにも関わらず、実現度が低い項目です。子どもは1日の生活の3分の1を学校で過ごします。学校と家庭が連携して取り組むことが大切だと考えます。例えば、読書活動については学校で日常的に取り組んでいます。ご家庭でも保護者の方と一緒に本を読んだり選んだりするなど、家族で本に親しむ生活が送れるようご協力をいただければありがたいです。

★保護者の自由記述から

- 「児童数の減少とともに、縦のつながり（異学年の遊び）が少なくなった」とご意見をいただきました。社会関係の希薄化が懸念される現在、同学年のつながりだけでなく、多くの学年とつながることや地域の人とつながることの重要性が増しています。本校では今年度、児童会がたてわり活動に力を入れています。前期はまだ十分な活動ができなかった面もあります。後期は高学年をリーダーとして力を入れていきたいと思います。
- 「子どもは楽しく学校生活をおくっているが、…以前あった「学習相談」のように先生と向き合って話をする機会がなくなり…」のご意見をいただきました。学校生活において、子どもが悩んでいること、困っていることに担任が耳を傾け、その手立てを講じ支援していくことはとても大切な教育活動です。学校は子どもと向き合える時間を十分に確保できるよう取り組んでいるところです。（例：校務支援システムによる通知表等の電子化、朝の職員朝礼の削減、校内研修の精選など）そして、何よりも教職員が子どもの声を敏感にキャッチできる耳をもつように心がけていきたいと思います。
- 「給食後、歯みがきをさせてほしい」というご意見をいただきました。本校では毎週火曜日にフッ化物洗口を行っています。食後の歯磨き指導は現在のところ行っていませんが、必要に応じて歯磨きをすることはとても大切なことです。今後、学校保健委員会や学校歯科医の先生からの指導のもと、適切な方法を探っていきたいと思います。
- 「2クラスに分かれての授業はとてもわかりやすく勉強もしやすい」というご意見をいただきました。本校では5年、6年で少人数学級指導を取り入れています。また、3年、4年ではいくつかの教科で教科担任制や分割指導、協力指導を行っています。これは、一人一人の子どもにきめ細かい指導が可能となることや、教員の専門的な立場から授業を行うことで、よりわかりやすい、より楽しい授業を進めるための取組です。今後も継続していきたいと思います。
- 「レポート的な宿題（絵日記、観察日記、新聞作成等）の宿題を望む」というご意見をいただきました。従来から、漢字の書き取り、計算練習、自主学習（日記）、読書などが一般的な家庭学習の内容です。これらは、基礎的・基本的な学習内容の定着を図るとともに、家庭での学習習慣の定着を図ることが大きなねらいです。一方、レポート的な宿題は、思考力・判断力・表現力などを育成する活用型の学習内容です。現在、子どもたちに求められているもっとも大切な学力の1つであります。普段の授業でもこれらの学力を意識して活用型の学習方法を取り入れ、家庭学習と連携して取り組むなど、教員の指導力向上と授業改善を図っていききたいと思います。

★教職員アンケートから

- 教職員は自校の子どもたちの様子や自己評価を通して学校の現状を評価しました。
- 教職員は子どもたちが楽しく学校に通っている、友だちと仲よく過ごしていると評価しています。また、健康、安全に配慮した教育活動に心がけ、地域との連携を深める取組に努めています。これらは、学校教育目標「進んで学びあい、共に生きようとする子の育成」に向けた取組であります。教職員が学校の使命をしっかりと受け止め、実行していくことが大切であると考えます。
 - 一方、子どもの家庭での読書や手伝いが不十分であると評価しています。これは学校での指導の裏返しだと受け止めています。家庭へのご協力をいただきながら家庭学習の進め方についての指導を進めていきたいと思います。他にも、挨拶や後片付け早寝早起きなど、自立に向けてできるようになってほしいことを、家庭と連携して進めていきたいと思います。

★児童アンケートから

- 「たのしくがっこうにきている」「ともだちとなかよくしている」「あいてのはなしをしっかりときいている」「きまりややくそくをしっかりとまもっている」は95%以上ができていると評価しています。しかし、あまり出来ていないと答えている子どもがいることをしっかりと受け止め、すべての子どもが「学校が楽しい」と言えるように支援していきたいと思います。
- 「はっきりじぶんのおもいはなしている」は20%の子どもができていると評価しています。日常の話し合いや発表活動の充実に取り組んでいきたいと思います。
- 「いえでほんをよんでいる」「おてつだいをしている。」「はやね・はやおきなどけんこうをかんがえてすごしている。」は、できていないと評価している子どもも多くいます。学校と家庭の連携をしっかりと、取組を進めていく必要があります。

★学校運営協議会から

- 今回のアンケート結果を踏まえ、10月27日の学校運営協議会において委員の皆様からご意見をいただきました。
- 「挨拶」「片付け」などは、大人が子どもの見本となって行動していくことが大切だにご助言をいただきました。また、「読書習慣」については、本と一緒に読んだり、読む本と一緒に選んだりするなど、親子で一緒に本に親しむ場面をもっと取り入れてはどうかとご意見をいただきました。他にも、学校運営協議会の皆様から、登下校中の子どもたちの元気に挨拶をしていただいていることや、ふれあい活動や地域と連携した学習活動において、子どもたちはとても意欲的に楽しく取り組んでいるとご評価いただき、今後もしっかり支援していきたいとお声をいただきました。

前期の学校評価をうけ、修正すべき点を明確にし、後期の取組に生かしていきたいと思います。保護者の皆様にはアンケートにご協力いただきありがとうございました。また、学校運営協議会の皆様には適切なご助言をいただきありがとうございました。後期もご協力の程よろしく願いいたします。

